

3・11 全国統一行動 札幌で終日行動 鉄道本部が宣伝行動でティッシュ付チラシ配布

全労連全国統一行動日の3月11日に、札幌では終日行動がとりくまれました。朝（出勤時）の市内10か所でのターミナル宣伝を皮切りに、昼休みの札幌駅前での宣伝行動、午後からの「福島原発事故10周年・鎮魂と連帯の行動」、夜の「くらしを守る札幌総行動・決起集会」がおこなわれました。この日の行動に北海道鉄道本部は札幌近隣の支部をふくめて13人が参加して、宣伝行動では建交労のティッシュ付チラシ400枚を配布しました。

夜の集会では、民主商工会・生活と健康を守る会・原水協から連帯のあいさつを受け、この日ストライキでたたかった北海道勤医労から「医療・介護・高齢者施設のすべての労働者にPCR検査拡充」を求める訴えや、「子育て緊急事態アクション」にとりくみ休校のときの助成金制度の見直しをさせたさっぽろ青年ユニオン、争議をたたかう医労連・恵和会労組からの発言とともに、建交労札幌合同支部の宮澤委員長（道本部書記長）が札幌市の施設清掃・警備労働者のアンケートのとりくみを報告して春闘での賃金底上げの重要性を訴えました。

各支部・分会が春闘要求書提出 函館運送・札幌定温・光合金

函館運送支部は3月5日に会社に「春闘要求書」を提出しました。賃上げ要求額は平均30,000円以上、誰でも一律10,000円以上・時給1,000円以上と、再雇用者の賃金については「現在の退職時の59%」となっている比率を引き上げるよう求めています。ここほか車両運転手当や住宅手当などの引き上げも要求しています。また、夏季一時金要求については「平均60万円」としています。

札幌地域支部札幌定温分会は、3月11日に「定年を65歳以上にすること」「基本給を4月から1万円引き上げること。最低保障額として年間500万円に」「再雇用者への一時金支給」を求める要求書を会社に提出しました。

小樽一般労組光合金支部は、3月9日に提出した要求書で「4月から基本給1%（2,300円）引き上げ（定期昇給分を含まない）」「夏季一時金を基本給の1.5か月分支給」のほか「休憩室の改善」「作業服の追加」などを要求しています。

1～2月の新規認定16件

道本部労災職業病部会は今年1～2月の新規認定などのとりくみ状況をまとめました。新規の労災認定は16件（振動障害3/じん肺2/じん肺の遺族補償3/騒音性難聴8）で、労災申請などの要求で15人が新たに建交労に加入しました。

なお、このほかに2019年6月に不支給決定を受けたじん肺の遺族補償請求1件が、2月26日に再審査請求（労働保険審査会）で取り消されました。